

2018年度 新しい文化創造プロジェクト 一覧

所屬名	リーダー名	プロジェクト名	基礎メンバー	【参考】プロジェクトの概要
1 愛知工業大学 基礎教育センター	長谷川 省一	瀬戸市の教育への支援に繋げる 協働実践	・愛知工業大学 基礎教育センター 准教授 東平 彩重 ・瀬戸市役所 学校教育課 ・瀬戸市立光陵中学校	平成24年度より「施策協働プログラム」、平成29年度より「新しい文化創造プロジェクト」として継続実施。 瀬戸市立光陵中学校の「夏休み学習会」に、教職課程の学生を「学習支援員」として派遣している。 今後は、夏休みの期間だけでなく、普段の勉強においても、中学生からの質問に対応できる環境を模索していく。 【支出経費】 参考書・問題集購入、交通費、ボランティア保険加入費等
2 瀬戸市立図書館	中桐 淳美	図書館連携事業ピリオパトル	・愛知工業大学 附属図書館 課長 加藤 直美 ・金城学院大学 教育研究支援部 図書館担当 田中 宏樹 ・名古屋学院大学 学術情報センター 矢澤 めぐみ ・名古屋産業大学 図書館主任 高桑 まき ・南山大学 図書館利用支援係長 加藤 富美 ・瀬戸市立図書館	平成28年度より「新しい文化創造プロジェクト」として実施。 各加盟大学で学生委員を募集し、学生委員会を開催。学生が企画・運営を担当し、11月の「図書館まつり」の時期に学生が発表者となるピリオパトルを行う。 平成29年度からは、市内の高校生も発表者として参加。 【支出経費】 学生交通費、発表者参加賞、会場費等
3 金城学院大学 生活環境学部	北森 一哉	食生活改善を目指した食事指導	・金城学院大学 教授 丸山 智美 ・瀬戸市役所 健康課	平成29年度より「新しい文化創造プロジェクト」として実施。 「食事摂取頻度法(BDHQ)」及び「食物多様性調査(FDSK-11)」により、市民を対象に食事指導を実施し、食生活の改善を目的とする。 市が行う健康教室に合わせて調査を実施している。 【支出経費】 BDHQ調査費、交通費、人件費、郵送費等
4 愛知工業大学 工学部	建部 謙治	教員・児童を対象とした安全・安心 行動計画	・愛知工業大学 教授 建部 謙治 ・瀬戸市教育委員会 ・瀬戸市立水野小学校 ・瀬戸市消防本部	平成28年度より「新しい文化創造プロジェクト」として実施。 小学校児童や教員に、地震、火災、日常災害等の安全に関わる知識や行動あるいは判断力を身に付けることを目的に、まず教員を対象とした研修会での講演や教材づくりのディスカッションを実施。その教材とノウハウを各校に持ち帰り、教員や児童に実践してもらう。 今回は火災や地震をテーマとし、次年度は日常災害へと展開していく。 【支出経費】 教材費、印刷費、人件費、交通費等
5 瀬戸市役所教育 部 学校教育課	白木 秀典	子どもの学びをサポート	・瀬戸市役所 学校教育課 ・金城学院大学 教授 川瀬 正裕 ・名古屋産業大学 教授 松瀬 留美子 ・愛知工業大学 客員教授 佐伯 平二 ・名古屋産業大学 教授 岡村 聖	平成27年度まで教育事業部の事業として実施し、平成28年度より「新しい文化創造プロジェクト」として実施。 ・大学教員による小中特別支援学校教員向けの発達支援に関する研修会を年間2回実施。 ・大学教員による理科実験授業を小学校で年間12回程度実施。 【支出経費】 人件費、交通費、教材費
6 瀬戸市役所教育 部 学校教育課	白木 秀典	子どもの発達支援プロジェクト	・瀬戸市役所 学校教育課 ・金城学院大学 教授 川瀬 正裕 ・金城学院大学 准教授 加藤 大樹 ・金城学院大学 教授 今村 友木子 ・金城学院大学 准教授 二村 彩 ・名古屋産業大学 教授 松瀬 留美子 ・南山大学 准教授 早川 徳香	平成27年度まで教育事業部の事業として実施し、平成28年度より「新しい文化創造プロジェクト」として実施。 ・大学教員が小中学校を訪問し、発達障害のある児童生徒を観察、そして支援・指導方法について教員を対象に相談活動を年間16回程度実施。 【支出経費】 人件費、交通費
7 金城学院大学 国際情報学部	学部生	「まちゼミ」の魅力度アップによる 商店間連携促進プロジェクト	・金城学院大学国際情報学部 学部生(5名) ・瀬戸まちづくり株式会社 社員 野村 晃輔 ・瀬戸まちづくり株式会社 社員 山下 晃子 ・瀬戸市役所 ものづくり商業推進課 ・金城学院大学国際情報学部 准教授 畠山 正人	平成29年度まで「施策協働プログラム」として実施。 「まちゼミ」の充実化・参加顧客の年代層を広げることを目的とし、夏休みの期間に小学生を対象とした「まちゼミ」タイアップ事業「子ども中心市街地ゼミナール(仮称)」の企画・運営、事業PRに学生が参画する。 「まちゼミ」成果の紹介として、PR動画を制作する。 「まちゼミ」とは…商店街の店主が講師となり、プロならではの専門的な知識や情報、コツを無料で受講者に伝える少人数制のゼミ 【支出経費】 交通費、宿泊費、謝金
8 名古屋学院大学 スポーツ健康学 部	中野 貴博	こどもの体力・運動能力、活動意 欲向上を目指した調査・実践	・名古屋学院大学 准教授 中野 貴博 ・名古屋学院大学 講師 四方田 健二 ・瀬戸市教育委員会 ・名古屋学院大学 学生 研究室所属学生(3,4年)	平成28年度より「新しい文化創造プロジェクト」として実施。 官学および教育現場が連携して、子ども達の体力・運動能力、意欲向上に資することを目的とし、大学の専門施設を利用した運動機会の提供や特定の小学校と連携して、児童の体力向上実践モデルケースの構築を目指す。 【支出経費】 謝金、保険料、印刷費等
9 名古屋学院大学 スポーツ健康学 部	坂井 智明	健康づくりのモデル都市に！運 動拠点を地域につくろう	・名古屋学院大学 准教授 中野 貴博 ・瀬戸市役所 まちづくり協働課 ・瀬戸市役所高齢者福祉課 地域支援係	平成28年度より「新しい文化創造プロジェクト」として実施。 大学や市内の公民館・地域交流センターなどの公共施設で地域の高齢者を対象とした健康運動教室を開催。 市内の各所でモデル地区として実践し、それが各地区に伝播することで、瀬戸市を「健康づくりのモデル都市」へ導くことを目標とする。 【支出経費】 人件費、保険料、リース制作作成費等
10 瀬戸市長直轄 組織 まちづくり協働課	藤井 邦彦	リケジョ支援プロジェクト	・愛知工業大学工学部 准教授 中野 寛之 ・瀬戸市役所 まちづくり協働課	平成29年度より「新しい文化創造プロジェクト」として実施。 女性活躍・男女共同参画推進における「理系=男性」というイメージの解消や性別に関わりない進路選択・キャリア形成の支援を目的とする。 理系分野で活躍する女性の講演会や大学の研究を体験できるようなワークショップ、また大学・企業の研究現場の見学などを企画し、性別にとらわれない社会での活躍を目指す。 【支出経費】 謝礼、交通費、チラシ・ポスター作成費等
11 南山大学 総合政策学部	石川 良文	瀬戸市居住促進のための魅力分 析と情報発信	・南山大学 教授 石川良文 ・南山大学総合政策学部石川ゼミナール 学生 2018年度新3年生(18名) ・瀬戸市役所 政策推進課	平成28年度より「新しい文化創造プロジェクト」として実施。 瀬戸市の居住促進につながるアピールポイントを分析し、居住促進につながるターゲットに対してHP、SNS、冊子等により効果的な情報発信を行う。 【支出経費】 交通費、資料費、印刷費、HP作成・運営費等